

## KIIC セミナー『危機管理対応におけるドローンの有効性と最新動向』講演資料

ドローンに接していない多くの方の中では、どんなドローンでも、ドローンがあれば何でもできるといった、ザックリとした感覚“があると思います。さらにドローンを保有しているだけで、多くのドローン事業ができる団体と認識される傾向があると思います。

しかし商品として販売されているドローン外見だけでも、小型のもの・中型のもの・大型のものに容易に分類されます。また、バッテリーだけでなく、エンジンや水素で飛行するものもあります。重要となる性能面でも、飛行時間や安全性能もさまざまです。

ドローンの付属物として何かを生み出すのに必要なセンサー（光学カメラ・赤外線・レーザ等々）も、性能の差異だけでなく、固定型・脱着式交換型など、さまざまな製品が運用されています。皆さまが危機管理や災害時に必要と考える目的に合わせて、ドローン・センサーやソフトウェアを選択検討し、目的に適合した商品を整備することにより、目的が達成されます。また、オペレータの経験は、ライセンス保持者であっても、平時に運用していなければ、準備・メンテナンスを始め、緊急時にできることは皆無に近い可能性もあります。

これら危惧される状況に対して、本講演ではドローンの種類や搭載するセンサーの紹介や、災害時に役に立つであろうと考える技術紹介をさせていただきます。

さらにドローンでできる技術の中で緊急に運用できる技術、時間を必要とする技術など詳細を示させていただき、皆さまが災害時にドローンでは一次対応として何が必要か。二時対応として何が必要か。三時対応として何を求めるか。そのために必要な要件は何か？ということ想像頂けるような講演になればと考えております。それを基本に、どんな設備と人材が必要なのか、もしくは、どういう整備をしている団体と協定を締結すべきか？という検討の一助になれるのではと思っております。

そのなかで KIIC さまの扱われておられる被災者支援システムとの連携を、想像頂く場面も示しております。さらに、孤立集落への物資輸送を行えるドローンや、長時間飛行可能な VTOL の実験結果などの最新技術も紹介させていただきます。

### 講演項目

1. 会社紹介
2. ドローンによる災害時に有効な技術紹介
3. ドローンの機種とセンサー紹介
4. 測量系ドローン活用技術の詳細説明
5. 災害時から経過する状況に合わせたドローンによる災害支援
6. 最新機材・技術の紹介
7. 災害協定内容の変化
8. ドローン以外の危機管理の取組紹介
9. 弊社で活躍するドローン以外の無人機紹介